大学院生における留学生と日本人学生の感染症抗体検査の推移

第 49 回全国大学保健管理研究集会　ポスター資料

大学院生における留学生と日本人学生の感染症抗体検査の推移

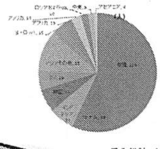
金沢大学保健管理センター

○池田美智子, 田上芳美, 宮崎節子, 亀田真紀, 柿本晴美, 高紀子, 芦原百合子, 清水美保, 内山勝晴, 足立由美, 吉川弘明, 小泉順二

【目的】

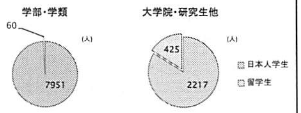
金沢大学は、環日本海域の基幹大学、東アジアのアカデミアの拠点として、中国をはじめとするアジア地域との交流を積極的に推進しており、交流指定校の半数以上がアジアの機関、受け入れ学生の8割以上がアジアからの学生である。

［2011年　受入留学生の出身地域別内訳］

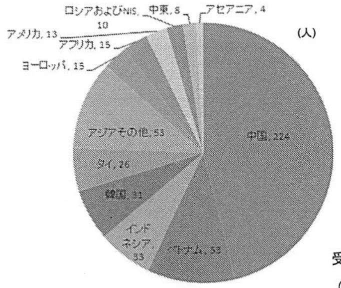


受入総計 485人
(2011.5.1 現在)

［2011年　受入留学生の所属内訳］



【2011年　受入留学生の出身地域別内訳】



受入総計 485人
(2011.5.1 現在)

【受け入れの多い上位3国の予防接種状況】

	麻疹	風疹	流行性耳下腺炎	水痘
中国	定期接種	定期接種	広州市では 任意接種	任意接種
ベトナム	公費による 定期接種	任意接種	任意接種	任意接種
インドネシア	定期接種	任意接種	任意接種	任意接種
日本	定期接種	定期接種	任意接種	任意接種

外務省ホームページ>渡航関連情報>在外公館医務官情報>世界の医療情報
http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/medi/index.html

表1. 金沢大学における予防接種勧奨基準抗体価

	測定方法	接種対象
麻疹	EIA(IgG)	＜4.0
風疹	HI	男性：≦8(倍)
		女性：≦16(倍)
流行性耳下腺炎	EIA(IgG)	＜4.0
水痘	IAHA (2007年まで)	≦2(倍)
	EIA(IgG) (2008年～現在)	＜4.0

【調査対象・方法】

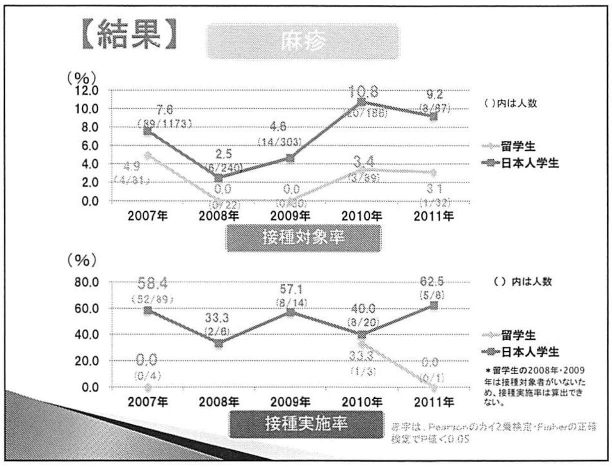
大学院の外国人留学生　254人

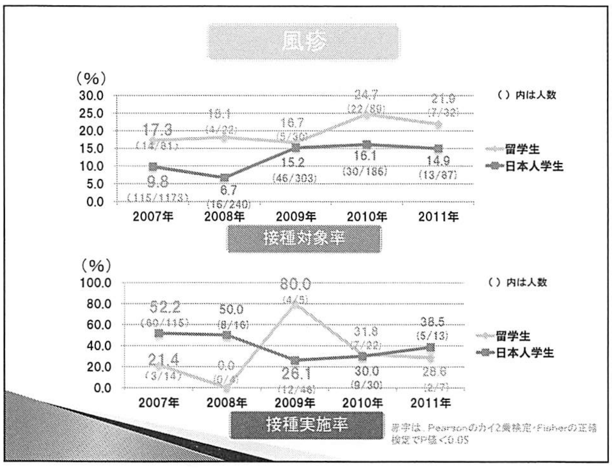
大学院の日本人学生　1990人

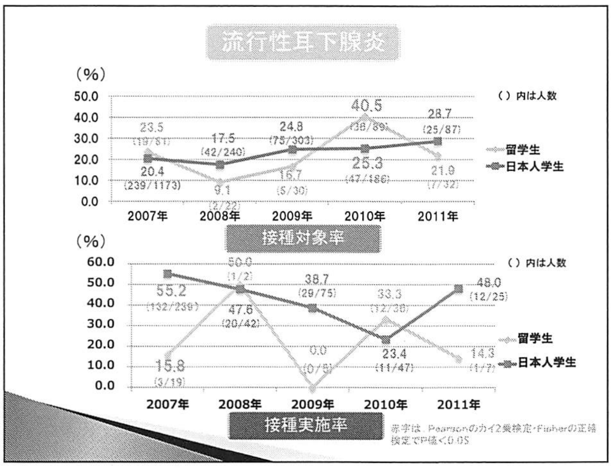
- 抗体検査対象‥2007年は大学院に在籍する全学生 2471人
- 2008年～2011年は本学で検査未実施の大学院入学生 1605人

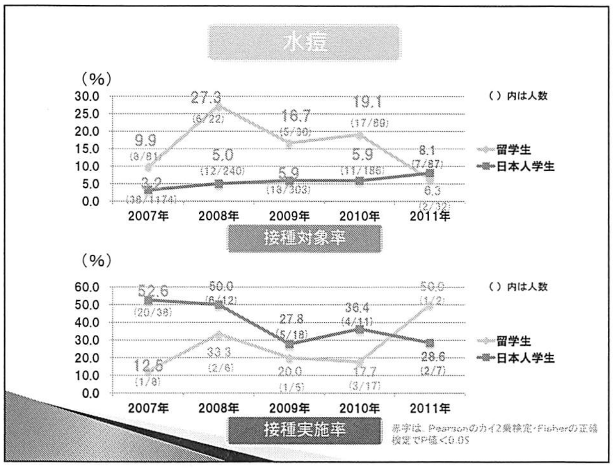
抗体検査実施 → 抗体価が基準に満たない → 予防接種勧奨

予防接種の対象率 → 予防接種の実施率









【結論】

- 予防接種対象率は、麻疹のみ、2010年に日本人学生が有意に高い。風疹、水痘、流行性耳下腺炎は、過去5年間で外国人留学生が有意に高いことがあり、特に流行性耳下腺炎は、2010年に外国人留学生が40.5%と高値で、水痘は2011年以外外国人留学生が有意に高い。
  ⇒今後も感染症抗体価検査の継続が必要。
- 予防接種実施率は、実施初年の2007年は、麻疹、風疹、流行性耳下腺炎、水痘すべて、日本人学生が有意に高いが、風疹は、2009年に外国人留学生が有意に高く、外国人留学生、日本人学生ともに、ばらつきがある。
  ⇒予防接種勧奨の積極的働きかけが必要。